

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-522192(P2005-522192A)

【公表日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2003-562238(P2003-562238)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	14/475	(2006.01)
C 0 7 K	14/705	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	9/00	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	29/00	
C 0 7 K	14/00	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	14/475	
C 0 7 K	14/705	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	16/46	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	9/00	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 N	5/00	A

C 1 2 N 5/00

B

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月19日(2005.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1～7；配列番号9～37；および配列番号154～163に記載のアミノ酸配列から選択される、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項2】

請求項1に記載のマルチマー化ポリペプチドに対して70%以上の同一性を有するポリペプチドであって、該ポリペプチドが、マルチマー化可能である、ポリペプチド。

【請求項3】

請求項1に記載のマルチマー化ポリペプチドに対して75%以上の同一性を有するポリペプチドであって、該ポリペプチドが、マルチマー化可能である、ポリペプチド。

【請求項4】

請求項1に記載のマルチマー化ポリペプチドに対して80%以上の同一性を有するポリペプチドであって、該ポリペプチドが、マルチマー化可能である、ポリペプチド。

【請求項5】

請求項1に記載のマルチマー化ポリペプチドに対して85%以上の同一性を有するポリペプチドであって、該ポリペプチドが、マルチマー化可能である、ポリペプチド。

【請求項6】

請求項1に記載のマルチマー化ポリペプチドに対して90%以上の同一性を有するポリペプチドであって、該ポリペプチドが、マルチマー化可能である、ポリペプチド。

【請求項7】

請求項1に記載のマルチマー化ポリペプチドに対して95%以上の同一性を有するポリペプチドであって、該ポリペプチドが、マルチマー化可能である、ポリペプチド。

【請求項8】

請求項1に記載のマルチマー化ポリペプチドのポリペプチド部分配列であって、該ポリペプチド部分配列が、マルチマー化可能である、ポリペプチド部分配列。

【請求項9】

請求項2に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、1つ以上のアミノ酸置換を有し、但し、7残基ジッパー反復配列(a . b . c . d . e . f . g)の位置aまたはdの全てが、ロイシン、イソロイシンまたはバリンのいずれかであり、該置換されたポリペプチドが、マルチマー化を与え得る、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項10】

請求項2に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、1つ以上のアミノ酸置換を有し、但し、7残基ジッパー反復配列(a . b . c . d . e . f . g)の位置aまたはdの1つ以上が、ロイシン、イソロイシンまたはバリンのいずれかであり、該置換されたポリペプチドが、マルチマー化を与え得る、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項11】

請求項10に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、7残基ジッパー反復配列(a . b . c . d . e . f . g)の位置aまたはdの少なくとも1つが、ロイシン、イソロイシンまたはバリン以外のアミノ酸である、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項12】

請求項10に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、1～5個の

アミノ酸置換を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 13】

請求項 2 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、位置 b、c、e、f または g の位置に、1 つ以上のアミノ酸置換を有し、但し、該置換されたポリペプチドが、マルチマー化を与え得る、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 14】

請求項 13 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、1 ~ 5 個のアミノ酸置換を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 15】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、少なくとも 1 アミノ酸長の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 16】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、少なくとも 15 アミノ酸長の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 17】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、少なくとも 18 アミノ酸長の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 18】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、少なくとも 22 アミノ酸長の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 19】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、少なくとも 27 アミノ酸長の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 20】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、少なくとも 31 アミノ酸長の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 21】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、約 125 アミノ酸長未満の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 22】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、約 100 アミノ酸長未満の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 23】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、約 75 アミノ酸長未満の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 24】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドであって、該ポリペプチドが、約 50 アミノ酸長未満の配列を有する、マルチマー化ポリペプチド。

【請求項 25】

異種ポリペプチドに融合された、請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドを含む、キメラポリペプチド。

【請求項 26】

請求項 25 に記載のキメラポリペプチドであって、前記マルチマー化ポリペプチドが、前記異種ポリペプチドのアミノ末端に融合される、キメラポリペプチド。

【請求項 27】

請求項 25 に記載のキメラポリペプチドであって、前記マルチマー化ポリペプチドが、前記異種ポリペプチドのカルボキシ末端に融合される、キメラポリペプチド。

【請求項 28】

請求項 25 に記載のキメラポリペプチドであって、前記マルチマー化ポリペプチドが、請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドに対して 50 % 以上の同一性を有し、該キメラ

ポリペプチドが、マルチマー化を与え得る、キメラポリペプチド。

【請求項 29】

請求項 25 に記載のキメラポリペプチドであって、前記マルチマー化ポリペプチドが、請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドの部分配列であり、該キメラポリペプチドが、マルチマー化を与え得る、キメラポリペプチド。

【請求項 30】

請求項 25 に記載のキメラポリペプチドであって、前記マルチマー化ポリペプチドが、1 つ以上のアミノ酸置換を有し、但し、7 残基ジッパー反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) の位置 a および d の 1 つ以上が、ロイシン、イソロイシンまたはバリンのいずれかであり、該キメラポリペプチドが、マルチマー化を与え得る、キメラポリペプチド。

【請求項 31】

請求項 25 に記載のキメラポリペプチドであって、前記キメラポリペプチドが、約 18 ~ 30、30 ~ 50、50 ~ 75、75 ~ 100、100 ~ 150、150 ~ 200、200 ~ 250、250 ~ 500 または 500 ~ 1000 のアミノ酸の配列長を有する、キメラポリペプチド。

【請求項 32】

請求項 25 に記載のキメラポリペプチドであって、前記異種ポリペプチドが、結合タンパク質、酵素、レセプター、リガンド、核酸結合タンパク質、成長調節因子、分化因子、および走化性因子から選択される、キメラポリペプチド。

【請求項 33】

請求項 32 に記載のキメラポリペプチドであって、前記結合タンパク質が、抗原結合ポリペプチドを含む、キメラポリペプチド。

【請求項 34】

請求項 33 に記載のキメラポリペプチドであって、前記抗原結合ポリペプチドが、少なくとも 1 つの抗体可変ドメインを含む、キメラポリペプチド。

【請求項 35】

請求項 34 に記載のキメラポリペプチドであって、前記抗体可変ドメインが、ヒトまたはヒト化されている、キメラポリペプチド。

【請求項 36】

請求項 33 に記載のキメラポリペプチドであって、前記抗原結合ポリペプチドが、単鎖抗体、F a b、F a b'、(F a b')₂、または F v 抗体の部分配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 37】

請求項 33 に記載のキメラポリペプチドであって、前記抗原結合ポリペプチドが、多特異的または多機能性の抗体を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 38】

請求項 33 に記載のキメラポリペプチドであって、前記抗原結合ポリペプチドが、I C A M - 1 またはそのエピトープに結合する、キメラポリペプチド。

【請求項 39】

請求項 33 に記載のキメラポリペプチドであって、前記抗原結合ポリペプチドが、I C A M - 1 を発現するヒトライノウイルス感染を阻害する、キメラポリペプチド。

【請求項 40】

請求項 33 に記載のキメラポリペプチドであって、前記抗原結合ポリペプチドが、ヘテロまたはホモのダイマー、トリマー、テトラマーまたはより高次のオリゴマーを形成する、キメラポリペプチド。

【請求項 41】

請求項 40 に記載のキメラポリペプチドであって、前記ホモダイマー、ホモトリマー、ホモテトラマー、またはより高次のホモオリゴマーを構成するモノマーの K_D が、1 × 10⁻⁷ 以下である、キメラポリペプチド。

【請求項 42】

請求項 40 に記載のキメラポリペプチドであって、前記ホモダイマー、ホモトリマー、ホモテトラマー、またはより高次のホモオリゴマーを構成するモノマーの K_D が、 1×10^{-8} 以下である、キメラポリペプチド。

【請求項 43】

請求項 25 に記載の少なくとも 1 つのキメラポリペプチドを含む、ホモまたはヘテロのダイマー、トリマー、テトラマーまたはより高次のポリペプチドのオリゴマー。

【請求項 44】

請求項 25 に記載のキメラポリペプチドであって、前記ポリペプチドが、前記マルチマー化ポリペプチドと前記異種ポリペプチドとの間にリンカーを含む、キメラポリペプチド。

【請求項 45】

請求項 44 に記載のキメラポリペプチドであって、前記リンカーが、ヒトアミノ酸配列またはヒト化アミノ酸配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 46】

請求項 44 に記載のキメラポリペプチドであって、前記リンカーが、約 5 ~ 20 アミノ酸のアミノ酸配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 47】

請求項 44 に記載のキメラポリペプチドであって、前記リンカーが、約 10 ~ 30 アミノ酸のアミノ酸配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 48】

請求項 44 に記載のキメラポリペプチドであって、前記リンカーが、約 25 ~ 50 アミノ酸のアミノ酸配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 49】

請求項 44 に記載のキメラポリペプチドであって、前記リンカーが、約 30 ~ 60 アミノ酸のアミノ酸配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 50】

請求項 44 に記載のキメラポリペプチドであって、前記リンカーが、約 50 ~ 75 アミノ酸のアミノ酸配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 51】

請求項 44 に記載のキメラポリペプチドであって、前記リンカーが、配列番号 43 (D30)、配列番号 44 (D35)、配列番号 45 (ED)、配列番号 46 (EDC)、または配列番号 47 (D63) のいずれかに記載のアミノ酸配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 52】

異種ポリペプチドに融合された、配列番号 43 (D30)、配列番号 44 (D35)、配列番号 45 (ED)、配列番号 46 (EDC)、または配列番号 47 (D63) のいずれかに記載のリンカーポリペプチド配列を含む、キメラポリペプチド。

【請求項 53】

請求項 52 に記載のキメラポリペプチドであって、前記リンカーポリペプチド配列が、配列番号 43 (D30)、配列番号 44 (D35)、配列番号 45 (ED)、配列番号 46 (EDC)、または配列番号 47 (D63) のいずれかに記載の部分配列である、キメラポリペプチド。

【請求項 54】

請求項 23 に記載のキメラポリペプチドを含む、薬学的処方物。

【請求項 55】

請求項 25 または 52 に記載のポリペプチドをコードする、核酸。

【請求項 56】

発現制御エレメントに作動可能に連結された、請求項 55 に記載の核酸を含む、発現カセット。

【請求項 57】

請求項 56 に記載の核酸を含む、ベクター。

【請求項 5 8】

請求項 5 6 に記載の核酸を含む、細胞。

【請求項 5 9】

請求項 5 8 に記載の細胞であって、該細胞が、細菌細胞、真菌細胞、動物細胞、植物細胞、および昆虫細胞からなる群より選択される、細胞。

【請求項 6 0】

請求項 5 9 に記載の細胞であって、前記動物細胞が、哺乳類である、細胞。

【請求項 6 1】

請求項 1 に記載のマルチマー化ポリペプチドをコードする配列を含む、核酸。

【請求項 6 2】

発現制御エレメントに作動可能に連結された、請求項 6 1 に記載の核酸。

【請求項 6 3】

異種ポリペプチドをコードする核酸にインフレームで融合した、請求項 6 1 に記載の核酸。

【請求項 6 4】

請求項 6 3 に記載の核酸であって、リンカー配列をコードする核酸が、請求項 6 1 に記載の核酸と異種ポリペプチドをコードする核酸との間に位置する、核酸。

【請求項 6 5】

請求項 6 1 に記載の核酸配列を含む、ベクター。

【請求項 6 6】

請求項 6 5 に記載のベクターであって、前記ベクターが、発現ベクターである、ベクター。

【請求項 6 7】

請求項 6 1 に記載の核酸を含む、細胞。

【請求項 6 8】

請求項 6 7 に記載の細胞であって、前記細胞が、細菌細胞、真菌細胞、動物細胞、植物細胞、および昆虫細胞からなる群より選択される、細胞。

【請求項 6 9】

請求項 6 8 に記載の細胞であって、前記動物細胞が、哺乳類である、細胞。

【請求項 7 0】

マルチマーの形成を与える、1つ以上の7残基反復配列(a . b . c . d . e . f . g)を含むマルチマー化ポリペプチドを作製する方法であって、該方法が、7残基反復配列(a . b . c . d . e . f . g)を含むポリペプチドを改変する工程を包含し、ここで、位置aまたはdの1つ以上が、ロイシンまたはイソロイシンで置換され、それによって、マルチマー形成を与えるマルチマー化ポリペプチドを作製する、方法。

【請求項 7 1】

請求項 7 0 に記載の方法であって、前記改変ポリペプチドが、トリマー、テトラマー、またはペンタマーを形成するが、未改変ポリペプチドが、ダイマーを形成する、方法。

【請求項 7 2】

請求項 7 0 に記載の方法であって、前記改変ポリペプチドが、テトラマーまたはペンタマーを形成するが、未改変ポリペプチドが、ダイマーまたはトリマーを形成する、方法。

【請求項 7 3】

ダイマーの形成を与える、7残基反復配列(a . b . c . d . e . f . g)を含むマルチマー化ポリペプチドを作製する方法であって、該方法が、7残基反復配列(a . b . c . d . e . f . g)を改変する工程を包含し、ここで、位置aまたはdが、バリンとロイシンまたはイソロイシンのいずれかと置換され、それによって、ダイマー形成を与えるマルチマー化ポリペプチドを作製する、方法。

【請求項 7 4】

請求項 7 3 に記載の方法であって、前記未改変ポリペプチドが、トリマーまたはテトラマーまたはペンタマーを形成する、方法。

【請求項 7 5】

トリマーを形成するキメラポリペプチドを作製する方法であって、該方法が、7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むマルチマー化ポリペプチドを含むキメラポリペプチドを作製する工程を包含し、ここで、位置 a および d の 1 つ以上が、ロイシンまたはイソロイシンのいずれかであり、異種ポリペプチドに融合され、それによって、トリマーを形成するキメラポリペプチドを作製する、方法。

【請求項 7 6】

請求項 7 5 に記載の方法であって、前記未改変ポリペプチドが、ダイマーまたはテトラマーまたはペンタマーを形成する、方法。

【請求項 7 7】

テトラマーを形成するキメラポリペプチドを作製する方法であって、該方法が、7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むマルチマー化ポリペプチドを含むキメラポリペプチドを作製する工程を包含し、ここで、位置 a および d の 1 つ以上が、ロイシンまたはイソロイシンのいずれかであり、異種ポリペプチドに融合され、それによって、テトラマーを形成するキメラポリペプチドを作製する、方法。

【請求項 7 8】

請求項 7 7 に記載の方法であって、前記未改変ポリペプチドが、ダイマーまたはトリマーまたはペンタマーを形成する、方法。

【請求項 7 9】

ペンタマーを形成するキメラポリペプチドを作製する方法であって、該方法が、7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むマルチマー化ポリペプチドを含むキメラポリペプチドを作製する工程を包含し、ここで、位置 a および d の 1 つ以上が、ロイシンまたはイソロイシンのいずれかであり、異種ポリペプチドに融合され、それによって、ペンタマーを形成するキメラポリペプチドを作製する、方法。

【請求項 8 0】

請求項 7 9 に記載の方法であって、前記未改変ポリペプチドが、ダイマーまたはトリマーまたはテトラマーを形成する、方法。

【請求項 8 1】

請求項 7 0、7 3、7 5、7 7 または 7 9 のいずれか 1 項に記載の方法であって、前記改変ポリペプチドが、未改変ポリペプチドと比較して、マルチマーにおける増加または減少した安定性を有する、方法。

【請求項 8 2】

マルチマーを形成する分子を作製する方法であって、該方法が、7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むマルチマー化ポリペプチドを含む分子を作製する工程を包含し、ここで、位置 a または d が、パリンと、ロイシンまたはイソロイシンのいずれかとであり、該分子に融合され、それによって、マルチマーを形成する分子を作製する、方法。

【請求項 8 3】

トリマーまたはテトラマーまたはペンタマーを形成する分子を作製する方法であって、該方法が、7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むマルチマー化ポリペプチドを分子に連結し、これによって、トリマーまたはテトラマーまたはペンタマーを形成する分子を作製する工程を包含し、ここで、位置 a および d の 1 つ以上が、ロイシンまたはイソロイシンのいずれかである、方法。

【請求項 8 4】

請求項 8 2 または 8 3 に記載の方法であって、前記分子が、ポリペプチドである、方法。

【請求項 8 5】

7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むマルチマー化ポリペプチドを同定する方法であって、該方法が、以下：

a) ホモマルチマーまたはヘテロマルチマーの形成を可能にする条件下で、7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むポリペプチドをインキュベートする工程で

あって、ここで、位置 a および d の 1 つ以上が、ロイシン、イソロイシン、またはバリンのいずれかである、工程；および

b) 該ポリペプチドのホモマルチマーまたはヘテロマルチマーの存在をアッセイする工程であって、ホモマルチマーまたはヘテロマルチマーの形成が、7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むマルチマー化ポリペプチドを同定する、工程、を包含する、方法。

【請求項 8 6】

請求項 8 5 に記載の方法であって、工程 a) の前記ポリペプチドが、7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むポリペプチドに融合された異種ポリペプチドを含む、方法。

【請求項 8 7】

請求項 8 6 に記載の方法であって、前記ポリペプチドが、前記異種ポリペプチドと前記 7 残基反復配列 (a . b . c . d . e . f . g) を含むポリペプチドとの間にリンカーを含む、方法。

【請求項 8 8】

細胞の R S V 感染を阻害するための組成物であって、該組成物が、R S V を含む細胞または R S V 感染に感受性の細胞を、請求項 3 6 に記載の抗体のヘテロまたはホモのダイマー、トリマー、テトラマーまたはより高次のオリゴマーを含む、組成物。

【請求項 8 9】

請求項 8 8 に記載の組成物であって、前記細胞が、被験体に存在する、組成物。

【請求項 9 0】

請求項 8 9 に記載の組成物であって、前記被験体が、喘息を有するかまたは喘息の危険にある、組成物。

【請求項 9 1】

請求項 8 8 に記載の組成物であって、前記細胞が、上皮細胞である、組成物。

【請求項 9 2】

R S V 感染の阻害、R S V 進行の阻害、または被験体の R S V 感染の処置のための組成物であって、該組成物が、請求項 3 8 に記載の抗体、あるいは請求項 3 8 に記載の抗体のヘテロまたはホモのダイマー、トリマー、テトラマーまたはより高次のオリゴマーを含む、方法。

【請求項 9 3】

感冒を処置するための組成物であって、該組成物が、請求項 3 8 に記載の抗体、あるいは請求項 3 8 に記載の抗体のヘテロまたはホモのダイマー、トリマー、テトラマーまたはより高次のオリゴマーを含む、方法。

【請求項 9 4】

請求項 9 3 に記載の組成物であって、前記処置が、H R V による感染、H R V 感染の進行、または H R V 感染の症状を阻害する、組成物。

【請求項 9 5】

請求項 8 8、9 2 または 9 5 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記抗体が、ヒト化されている、組成物。

【請求項 9 6】

請求項 8 8、9 2 または 9 5 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記抗体が、局所的投与のために処方されている、組成物。

【請求項 9 7】

請求項 8 8、9 2 または 9 5 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記抗体が、吸入による投与または鼻腔内投与のために処方されている、方法。

【請求項 9 8】

請求項 9 2 または 9 3 に記載の組成物であって、前記被験体が、喘息を有するかまたは喘息の危険にある、組成物。

【請求項 9 9】

請求項 9 2 または 9 3 に記載の組成物であって、前記被験体が、新生児あるいは 1 ～ 5 歳、5 ～ 1 0 歳または 1 0 ～ 1 8 歳の間である、組成物。

【請求項 1 0 0】

細胞の R S V 感染を阻害するためのキットであって、該キットが、請求項 3 6 に記載の抗体のヘテロまたはホモのダイマー、トリマー、テトラマーまたはより高次のオリゴマーと指示書とを含む、方法。

【請求項 1 0 1】

請求項 1 0 0 に記載のキットであって、前記細胞が、被験体に存在する、キット。

【請求項 1 0 2】

請求項 1 0 1 に記載のキットであって、前記被験体が、喘息を有するかまたは喘息の危険にある、キット。

【請求項 1 0 3】

請求項 1 0 0 に記載のキットであって、前記細胞が、上皮細胞である、キット。

【請求項 1 0 4】

R S V 感染の阻害、R S V 進行の阻害、または被験体の R S V 感染の処置のためのキットであって、該キットが、請求項 3 8 に記載の抗体、あるいは請求項 3 8 に記載の抗体のヘテロまたはホモのダイマー、トリマー、テトラマーまたはより高次のオリゴマーと指示書とを含む、キット。

【請求項 1 0 5】

感冒を処置するためのキットであって、該キットが、請求項 3 8 に記載の抗体、あるいは請求項 3 8 に記載の抗体のヘテロまたはホモのダイマー、トリマー、テトラマーまたはより高次のオリゴマーと指示書とを含む、キット。

【請求項 1 0 6】

請求項 1 0 5 に記載のキットであって、前記処置が、H R V による感染、H R V 感染の進行、または H R V 感染の症状を阻害する、キット。

【請求項 1 0 7】

請求項 1 0 0、1 0 4 または 1 0 5 に記載のキットであって、前記抗体が、ヒト化されている、キット。

【請求項 1 0 8】

請求項 1 0 0、1 0 4 または 1 0 5 に記載のキットであって、前記抗体が、局所的投与のために処方されている、キット。

【請求項 1 0 9】

請求項 1 0 0、1 0 4 または 1 0 5 に記載のキットであって、前記抗体が、吸入による投与または鼻腔内投与のために処方されている、キット。

【請求項 1 1 0】

請求項 1 0 4 または 1 0 5 に記載のキットであって、前記被験体が、喘息を有するかまたは喘息の危険にある、キット。

【請求項 1 1 1】

請求項 1 0 4 または 1 0 5 に記載のキットであって、前記被験体が、新生児あるいは 1 ～ 5 歳、5 ～ 1 0 歳または 1 0 ～ 1 8 歳の間である、キット。